

2022年2月17日

イオン九州株式会社

2025年までに、使い捨てプラスチック使用量半減へ プラスチック製カトラリーを木製・紙製に変更

イオン九州株式会社（以下 イオン九州）は、2022年4月から順次「イオン」「イオンスタイル」「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」全店舗で、お客さまにお渡しする使い捨てカトラリーを、プラスチック素材から木製や紙製といった環境配慮型素材に変更します。

イオン九州は、脱炭素社会の実現に向けて、持続可能なプラスチック利用を目指す「イオンプラスチック利用方針」のうち、「事業活動で使用する使い捨てプラスチック※¹を2030年までに2018年比で半分に減らす」というグループ全体目標に向け、2025年までに2018年比で48%減らす目標を掲げています。

こうした中、買い物袋持参運動によるレジ袋の削減や、お客さまが惣菜や弁当などを購入される際にお渡しするストローや、スプーン・割りばしなどのカトラリー類を、お申し出をいただいたお客さまに必要な数量だけお渡しすることにより使用量の削減を推進してまいりました。

このたび、上記の削減目標を達成するための取り組みをさらに推進し、九州の「イオン」「イオンスタイル」「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」全247店舗で、お客さまにレジでお渡しする使い捨てカトラリーを、プラスチック素材から木製や紙製といった環境配慮型素材に順次変更いたします。

なお、紙製ストローについては全店舗で2月より順次変更いたします。また、2月下旬以降の新規店舗では下記の使い捨てカトラリー類すべてを開店時より導入予定です。

イオン九州は、今後も目標達成に向けて事業活動で使用する使い捨てプラスチック削減に積極的に取り組んでまいります。

	＜変更後＞ 木製・紙製	＜変更前＞ プラスチック製
カトラリー類		
箸包装		

※1：容器包装リサイクル法の対象となるプラスチック製容器包装のうち、使用後に不要となるものと、レジで無償配布するストローやカトラリー類などの使い捨ての資材。

◆レジ袋の削減について

１９９１年に「買物袋持参運動」を始めて以来、２００９年から食品売場でのレジ袋無料配布を中止し、２０１３年には同売場において環境負荷の少ないバイオマス素材のレジ袋を販売。２０２０年４月から全ての直営売場でのレジ袋無料配布を中止いたしました。

多くのお客さまのご理解とご協力の結果、イオン九州のレジ袋辞退率は２０２１年２月時点で約８０％まで高まっています。なお、有料レジ袋の販売収益金は地域の環境保全団体に全額寄付されます。



◆リサイクルBOXの設置について

食品トレイ等プラスチックや牛乳パック、ダンボールや古紙等の資源を回収する取り組みを行っています（回収する資源は店舗により異なります）。



◆「イオン プラスチック利用方針」（２０２０年９月策定）

イオンは、脱炭素社会の実現に向けて、持続可能なプラスチック利用に取り組みます。店舗・商品・サービスを通じて、全てのステークホルダーの皆さまとともに、脱炭素型かつ資源循環型の新たなライフスタイルの定着を進めて参ります。

- １．事業活動における資源の無駄使いや使い捨て型の利用を見直し、使い捨てプラスチックゼロを目指します。
- ２．必要なプラスチックは化石由来から環境・社会へ配慮した素材へ転換します。
- ３．店舗を拠点に使用済プラスチックの回収・再利用・再生する資源循環モデルを構築し、お客さまとともに持続可能な資源利用に取り組みます。

<目標> CO₂排出量ゼロの持続可能なプラスチック利用を目指し、

- ・ ２０３０年までに、使い捨てプラスチック使用量を２０１８年比で半減します。
- ・ ２０３０年までに、全てのPB商品で環境・社会に配慮した素材を使用します。
- ・ ２０３０年までに、PB商品のPETボトルを１００％再生又は植物由来素材へ転換します。

以上